

令和 8 年度 鞍ヶ池公園評価委員会 評価結果報告

1 開催日時

- (1) 日時 令和 8 年 6 月 1 6 日 (火) 午後 2 時から午後 3 時 3 0 分まで
(2) 場所 鞍ヶ池公園 四季の古里管理事務所

2 評価委員

	氏 名	所 属	出 欠
委員長	田中 人	山陽学園大学 地域マネジメント学部 教授	欠席
委員	今西 良共	岐阜県立国際園芸アカデミー 学長	出席
委員	速川 英津子	中小企業診断士	出席
委員	鬼木 利恵	株式会社 eight 代表取締役	出席
委員	角谷 元	豊田市 都市整備部 部長	出席

3 評価対象

令和 7 年度の事業者（鞍ヶ池公園ミライプロジェクト共同企業体）の取組。

4 評価方法

事業者が次の 3 つの評価内容について、実績、課題、対策（今後の取組）を整理し、これに対して評価委員が評価点を付け総評を行った。

- (1) 重点取組項目に対する実績（概要は、別添 1 のとおり）
(2) 定量的評価（概要は、別添 2 のとおり）
(3) 定性的評価（概要は、別添 3 - 1、3 - 2 のとおり）

5 評価点

各項目について、事業者の取組が基準点 3 を上回ったのか下回ったのかを各委員が評価した。結果は次のとおり。

※全体評価は配点が 10 であるため、基準点は 6

評価点	評価基準	評価内容	評価点
5	期待を著しく上回る	(1) 重点取組項目に対する実績	3.3
4	期待を上回る	(2) 定量的評価	3.3
3	期待どおり【基準点】	(3) 定性的評価	3.1
2	期待やや下回る	全体評価	7.5
1	期待を下回る		

6 評価委員のコメント

- ・これだけ広大な公園を管理することは大変だが、大きなクレームや事故がないことは評価すべきことだと思う。
 - ・ただ、現在の管理運営のスタイルが100%正しいということではない。社会的背景は長い目で見れば変化するし、短い期間でも来園者の動向は変化する。そして公園の使い方、使われ方も変わる。そのような状況の中で、どんどん新しいチャレンジに取り組んで欲しいと思う。イベントなどの事業でいうと、足し算だけではなく、引き算も必要である。一つの枠の中に何でも取り入れるのではなく、しっかりと見極めながら、色々な新しい試みをしてもらいたい。
 - ・情報発信の面では「量」よりも「質」を追求して欲しい。鞍ヶ池公園のことは、ホームページやSNSなどの発信で認知度は上がると思うが、受け取る側が情報をどう取り扱うかで結果が変わる。並行して管理運営の質も上げていくことが必要である。指定管理者自身がどれだけ取り組めるか、また自分たちにしかできないこともあるはず。
 - ・昨年度、エルミオーレがRVパークの実証実験をした。その結果報告から課題が出てきたと思う。その課題解決を踏まえて、本格的な運用ができるように進めて欲しいと思う。求める人がいてはじめて、公園の新しい試みやスタイルを発信できることもある。常にチャレンジを続けて欲しい。その姿勢が公園を増々魅力的にするはず。
-
- ・一生懸命に事業に取り組んでいることが分かった。
 - ・夏期は来園者が少なくなる。暑さに対応した園内の移動方法などを検討して欲しい。
 - ・公園内のキャンプ事業は近くに水辺があるとよい。子どもが水で遊べるようなことも考えてもらえれば。キャンプフィールドは値段が高いのでは？
-
- ・前回の評価委員会で公園のコンセプトとして「未来づかい」を意見したが、イベントなどの公園事業でしっかり反映していてよいと感じた。
 - ・駐車場の問題については、増設するのか、設備を充実させるのか、案内を工夫するのか、やるべきこと挙げればきりが無い。公園のコンセプトやアンケートの結果を踏まえて、来園者数を増やすのか、来園者一人ひとりの満足度上げるのか、滞在時間を増やすのかなど、目的に沿って質の高いサービスとなるよう取り組んで欲しい。また、来園者にどんな形で公園を使って欲しいかということも考えて欲しい。
 - ・AI時代になってきて、鞍ヶ池公園との接点が増えている。鞍ヶ池公園が増々価値を上げて際立つ存在になれるとよい。
 - ・猿投農林高校との共働事業があったが、豊田市青少年センターでは高校生のボランティアが増えている。公園のボランティア団体が高齢化し、継続的な活動が難しいのであれば、高校生の体験学習やボランティア活動を活用することも検討してもよい。新しい発想や視点が期待できる。
 - ・キャンプ事業は、どんな道具やロケーションがいいか、来園者がスノーピークさんらプロから教わる機会があればそれは貴重なこと。小さなことからでもいいので、公園のコンセプトに沿って続けていけば、もっと魅力的になると思う。
-
- ・来園者が継続的に増加しており、頑張っていると思う。また大きなトラブルや事故などもなく管理いただいていることに感謝している。

- ・来園者が少なくなる夏の時期のイベントなども工夫いただいているし、「施設管理がキレイだった」という来園者の声もあり、来園者数をこれからも増やしていく上では大事なこと。素晴らしいと思う。
- ・駐車場と飲食サービスが改善点に挙げられる。駐車場を拡張することは難しいが、案内の仕方を工夫するなどして、来園者の満足度を上げていけるとよい。
- ・鞍ヶ池スマートインターに隣接していることも強み。県外の利用者も割と多い。そういった環境も生かしていければ。

【豊田市の総評】

（評価できる事項）

- ・閑散期（夏期・冬期）に新規事業を誘致、また既存事業を継続開催させるなど活性化に尽力し、新たな来園者の獲得やリピーターの確保に努めた。
- ・未利用の園地や開園時間外（早朝、夜間）に自主事業を試行し、公園の利活用推進に積極的な姿勢で取り組んだ。
- ・来園者の熱中症予防策としてクーリングシェルターを増設（サービスセンター、プレイハウス、動物園に加えてスノーピークレストラン・ショップ）し、市の事業と連携して予防策を推進した。
- ・WRC（ラリージャパン）開催前に集客の見込まれる施設修繕を適切に実施し、来園者の安全確保に努めた。
- ・ボランティア団体との協議の場を設け、意見交換を行い、今後の課題を抽出した。
- ・60周年記念祭では、インフルエンサーと連携した事業を企画し、公園の新しい活性化の手法を見出しながらイベントの誘客に繋げた。
- ・自主事業であるコミュニティツアーは回数を重ねて継続し、その内容も毎回趣向を凝らしている。また構成企業や動物園との連携も進んでいる。

（改善を要する事項）

- ・ボランティア団体の運営や植物園の利活用等、既存の課題にもう一步踏み込み、ネットワークのある他自治体の公園の事例などを参考に、継続的な発展につながる工夫を期待したい。

重点取組項目に対する実績シート

※基礎資料の該当ページで補足説明を見ていただき、今後の魅力向上に繋がるかをふまえて、委員評価欄への点数記入をお願いします。

大項目	年度当初の事業者重点取組項目	重点取組項目に対する結果	委員 評価欄	基礎資料
①事業全体	重点取組項目 1 公園協議会を課題解決や新たな賑わい創出の意見交換の場として醸成する	7月に公園協議会を、9月にボランティア協議会を実施しました。各団体より意見を頂き、課題の抽出を行い、市との共有しました。具体的な課題としては、夏場の暑さによる集客低迷と公園管理作業における熱中症対策・ボランティアの高齢化による作業量の見直しです。抽出した意見に対して、熱中症対策用のテント購入、夏場のウォーターイベント実施、ボランティア作業量削減に向けた取組について市へ予算要求しました。	/5	P 3 P 7
②指定管理	重点取組項目2 各セクションスタッフ会議を月1回～2回開催し、プレイハウスのクレームを令和6年度対比50%以上削減を目指す。	・5月に接遇に関する研修、9月に労働災害防止のための研修、1月に職場改善(5S)研修を実施しました。研修や会議を通じて接遇意識の向上、環境改善の意識共有を図りました。 ・プレイハウスのクレーム件数は令和6年度 6件(うち接客に関して3件)、令和7年度 8件(うち接客に関して3件) →令和6年度対比50%以上削減には至りませんでした。一方、接客に関するクレーム件数は令和6年度と同数であり、意識の向上は見られますが、来園者目線での接遇力向上や未然防止に向けた取り組みについて引き続き取り組んでいきます。 今後も研修や講習を継続して行い、サービス向上とクレーム削減に努めます。	/5	P 3
③キャンプ フィールド	重点取組項目3 企業体事業者と協力し各施設における様々なプランを企画することで、収益性の健全化を目指す	令和7年度は 鞍キャン（キャンプイベント）以外で共同企画を実施する機会を十分に創出できませんでした。一方で、鞍キャンにおける構成企業のワークショップ出店は高い評価を得ており、協力体制を構築することの有効性が確認できました。	/5	P 4～5 P14～16
④乗馬	重点取組項目4 ホーストレッキングやちよこつと乗馬のイベント、施設内事業者との共同開催イベントなどを毎月（年間12件）実施を目指す。	猛暑や雨天等の天候要因によるやむを得ない中止が7回発生したため、年間5回（来場者数：4 6 9人／も目標数：5 6 0人）の実施となりました。	/5	P 5 P17
⑤植栽管理	重点取組項目5 旧ドライブコースの危険木の除去を中心に来園者の安全・安心を確保する	現場の状況を写真に収め、管理用のLINEで市や関係企業と迅速に情報共有し、危険樹木の確認や倒木の早期対応ができるようになりました。昨今の異常気象により、夏を過ぎた頃に弱っている樹木が枯れる傾向にあるため、1 0月頃（落葉前）に樹木の状態を確認していきます。	/5	P 6
			/25	

定量的評価シート

※基礎資料の該当ページで人数金額等の実績・課題・対策・補足説明を見ていただき、今後の魅力向上に繋がるかをふまえて、委員評価欄への点数記入をお願いします。

	大項目	中項目	小項目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和7年度 目標値	令和7年度 実績値	委員評価欄	基礎資料
⑥	全体	鞍ヶ池公園	来園者数(人)	1,500,000	1,386,200	1,450,000	1,478,200		P 7
⑦	指定管理	植物園	来場者数(人)	-	59,300	-	57,600	/5	P7～10
		プレイハウス	来場者数(人)	-	84,000	-	81,400		
		パークトレイン	利用者数(人)	-	35,041	-	36,554		
		A P M	利用者数(人)	-	-	-	-		
		ボート	利用者数(人)	-	8,937	-	7,186		
		⑧	行為許可	イベント	イベント回数(回)	-	41		
来場者数(人)	39,600				27,895	30,800	45,519		
キッチンカー	出店回数(回)			-	369	-	168		
	全売上げ(円)			-	24,102,425	-	7,726,080		
⑨	公募対象公園施設	カフェ	利用者数(人)	110,000	100,917	99,000	100,494	/5	P12～13
⑩	D B O (デザインビルド)	キャンプフィールド (全体)	利用者数(人)	93,500	75,476	82,500	75,685		P14～16
			売上げ(円)	110,000,000	83,106,236	152,550,000	91,552,625		
		ショップ	利用者数(人)	2,900	29,799	2,900	4,160		
			売上げ(円)	40,000,000	36,783,629	40,700,000	46,992,105		
		レストラン	利用者数(人)	45,000	44,933	44,000	70,950		
			売上げ(円)	45,000,000	40,271,212	44,100,000	39,711,869		
		住箱	利用者数(人)	500	500	500	369		
			売上げ(円)	5,240,000	5,245,435	5,240,000	3,843,692		
		キャンプデッキ	利用者数(人)	440	244	420	206		
			稼働率(%)	10	6%	10	9%		
			売上げ(円)	5,000,000	805,960	5,145,000	1,004,959		
	交流イベント	入込客数(人)	-	-	1,200	30			
⑪	自主事業	乗馬事業	利用者数(人)	510	472	560	469		P17～19
			売上げ(円)	-	271,000	-	194,700		
		フォレストアドベンチャー	利用者数(人)	-	16,962	-	16,567	/5	
			売上げ(円)	-	50,886,000	-	54,671,100		
⑫	ボランティア	四季の古里クラブ	開催日数(日)	-	101	-	114		P20～21
		ブリティッシュガーデンクラブ	開催日数(日)	-	103	-	96		
		里地里山会	開催日数(日)	-	26	-	24		
⑬	プレーヤー	プレーパークの会	開催日数(日)	-	42	-	42	/5	
				—：設定なし		—：設定なし	「基本」3点×5項目=15点	/25	

定性的評価シート 1

※基礎資料の該当ページで実績・課題・対策・補足説明を見ていただき、今後の魅力向上に繋がるかをふまえて、委員評価欄への点数記入をお願いします。

【凡例】 ○：実績 △：課題 □：対策（今後の取組）

設問・項目	アンケート結果(令和5年度・令和6年度)	アンケート結果をふまえた魅力向上の取組	委員 評価欄	基礎資料
属性	◇調査条件 調査日及び調査人数 ① 令和7年11月22日イベントある休日88人 ② 令和8年01月24日イベントある休日107人 ③ 令和8年02月22日イベントのある休日100人 ※⑤期間：2026年2月～2026年3月 ④ 令和8年03月22日イベントある休日21人 ⑤ 令和7年度ホームページ・Instagramからの63人 ◇調査場所 ・芝生広場及び大屋根下 ・ネット、SNS ◇調査対象 ・鞍ヶ池公園来園者 ◇調査方法 ・対面でのシート記入 ・ホームページからのアンケート記入 ・Instagramからのアンケート記入	■年代 ○実績：公園利用者は、30歳代～40歳代が最も多く来場していました。基本的には親子連れが最も多く、60歳代～70歳代はお孫さんと一緒にするなど、2世代・3世代での来園が多い結果となりました。	「■年代」は、評価できることが無いため、点点数付は不要です。 「■居住地」について、点数付けをお願いします。	P22～23
	◇年代 ◇居住地		/5	
		「基本」3点×1項目＝3点	/5	

定性的評価シート 2

※基礎資料の該当ページで実績・課題・対策・補足説明を見ていただき、今後の魅力向上に繋がるかをふまえて、委員評価欄への点数記入をお願いします。

【凡例】 ○：実績 △：課題 □：対策（今後の取組）

設問・項目	アンケート結果(令和6年度)		アンケート結果をふまえた魅力向上の取組	委員 評価欄	基礎資料
満足度	■満足度 ホームページ 来園者アンケート 満足度 来園者アンケート		■満足度 ○実績：景観・雰囲気満足度は高く、「いつきても芝生がきれい」などの自然や景観に対する回答が多かったです。そのほか「トイレがきれい・ゴミが少ない」など清掃に関する満足度も頂いています。 △課題：景観・清掃はこのまま引き続いて行っています。一方で、「駐車場が少ない」「公園の広さに対して飲食施設が少ない」など交通・飲食への不満も確認しました。 □対策：混雑が予想されるイベント時には、シャトルバスを出すなどで、満車対策を図ります。また、イベント情報のみならず、駐車場満車の懸念をHP・SNSで事前に告知することで利用者の利用時間帯を調整するきっかけづくりを行います。	/5	P24～25
要望	■要望（今後行ってほしいイベント等） ①音楽イベント(地元アイドル等) ②音楽イベント(市民バンド等) ③イルミネーション装飾 ④園内パレード ⑤キャラクターショー ⑥野外映画上映会 ⑦夜桜見物 ⑧大道芸 ⑨よさこい ⑩ワンワンフェス ⑪合成氷スケート場 ⑫コスプレイベント ⑬水上アクティビティ(SUP等) ⑭マルシェ・マーケット その他		■要望（今後行って欲しいイベント等） ○実績：マルシェ・マーケットの次にイルミネーション装飾・ワンワンフェス・夜桜見物が多かったです。 △課題：夜間のイルミネーション装飾など景観を求める声が多くありました。 □対策：桜においては豊田市も力を入れているプロジェクトであることより、桜まつり（夜含め）を検討していきます。また公園でのペット（犬）連れの来園者が非常に多いことより、ドッグイベントは継続して行っています。	/5	P25～26
良かった点・改善点	■良かった点 改善点 良かった点 改善点		■改善点 ○実績：自然景観・開放感・子供が遊びやすいが65%となりました。一方で駐車場・飲食への改善が全体の約半数を占めました。 △課題：駐車場・飲食施設が少ないとの声が多く寄せられました。 □対策：飲食施設においては、事業期間中に新規店舗を投資する事は困難なため、近隣施設に配慮しながら、キッチンカーにて食事の提供を行っていきます。	/5	P26～27
				/15	